

平成21年早春、新潟大学を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、
ならびに新潟大学を退任・退職される皆様に、心からお祝いを申し上げます。

■ ■ ■ 卒業、大学院修了を祝して

我が国の次代を担う、前途有為な卒業生ならびに大学院修了生を送り出すことができますことは、私たち新潟大学の大きな誇りと喜びであります。皆さんは、この新潟大学を離れて、実社会に飛躍される方が多いと思いますが、志を高くもって、自らの目標に向かって、果敢に挑戦してほしいと思います。

この度の新たな出発にあたり、将来への希望と共に、いくばくかの不安もあるかもしれません。皆さんには、新潟大学で身につけた高度で専門的な知識と技術、広い教養に支えられた知性、それに若さという強力な武器により、自信をもって社会の中で活躍してほしいと願っています。そのためには、失敗をおそれず、失敗から学ぶ勇氣ある挑戦をつづけ、まわり道があっても、夢に向かって進んで下さい。

今まさに世界的金融危機からの経済不安のなか、皆さんはこれからの生き方を真剣に考えていると思います。皆さんには、主体性を持って自らを律して行動する自律と責任を自覚し、高い倫理性を身に付け、積極的に社会を支えていく気概をもっていただきたいと願っています。21世紀は、自然環境、人口、食料、エネルギーなど、解決しなければならない課題を抱えています。皆さんの力によって、これまでとは違った新たな考え方、新たな仕組み、新たな価値を創造することが期待されているのです。

皆さんには、多くの可能性が与えられていますが、何より大切なことはあくまで自分との約束を守り、常に学ぼうとする努力を心掛け、実行することでしょう。皆さんの前途に幸多かれと祈念いたします。

■ ■ ■ 退任・退職を祝して

退任・退職される教職員の皆様は、永年にわたり本学に奉職され、それぞれのお立場において立派にお勤めいただきました。これまでの本学の発展にご尽力されたことに対し、心からの敬意と感謝の意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

近年の国立大学をめぐるのは、大変厳しい環境にあり、特に5年前の法人化移行時には、新しい制度設計等に対応すべき多くの課題が立ちふさがり、言い表せないほどの大変な負担がありました。しかし、皆様の絶大なるお力をいただいたお陰で今日の新たな国立大学法人新潟大学が築き上げられてきたと思っております。

新潟大学は、今後ともその使命である教育・研究・社会貢献活動の一層の充実に努めて参る所存です。皆様におかれましては、これからも本学に対するお力添えとご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

3年前(平成18年4月)に、本学の発展と会員相互の親睦を目的として、全学同窓会が結成されました。その目的に沿って、本学との懇談・交流会や講演会等を開催するなど、活発な活動が次々と展開されておりますことは、誠に喜びに堪えません。

同窓会活動を含めた様々な形で本学に対し、ご支援とご協力をお願いしたいと思っております。どうぞ折にふれて母校・新潟大学を訪れ、恩師、先輩、同級生の皆さん、同僚等との絆を大事にする機会を持っていただきたいと願っております。新潟大学は、皆様にとりまして心のふるさと(故郷)でありたいと、これからも、いつでも、皆様に扉を開いていたいと思っております。

最後に、この度人生の区切りを迎え、新たに出発される皆様方を、あらためて祝福申し上げますとともに、健康には充分ご留意され、お元気でご活躍されますことを願って送別の辞といたします。



失敗をおそれずに、
失敗から学ぶ勇氣ある挑戦をつづけ、
まわり道があっても、
夢に向かって進んで下さい。



新潟大学長

下 條 文 武

GEJYO, Fumitake